

修士論文（要旨）

2021年1月

中国人日本語学習者の縮約形の習得に関わる要因
—動画コンテンツからの影響に着目して—

指導 齋藤 伸子 教授

言語教育研究科
日本語教育専攻

219J3005

何瑾

Master's Thesis(Abstract)
January 2021

Factors Related to the Acquisition of the Contracted Form of Japanese by Chinese
learners: -Focusing on the influence of video content-

JIN HE
219J3005

Master's Program in Japanese Language Education
Graduate School of Language Education
J. F. Oberlin University
Thesis Supervisor: Nobuko Saito

目次

はじめに

第1章 研究背景.....	1
1. 研究背景.....	1
2. 研究目的.....	1
第2章 先行研究.....	2
2.1 縮約形の定義.....	2
2.2 中国日本語学習者の日本語動画コンテンツの視聴状況に関する調査.....	2
2.3. 使用される縮約形の種類および母語別使用頻度.....	3
第3章 中国人学習者の縮約形の習得への影響が予想される要因.....	4
3.1 教室習得と自然習得.....	4
3.2 教室外の縮約形の習得に影響する要因.....	4
第4章 調査概要.....	5
4.1 事前調査.....	5
4.2、本調査.....	5
4.2.1 教科書における縮約形の調査.....	5
4.2.2 縮約形に関するテスト.....	6
4.2.3 動画コンテンツ視聴などに関するアンケート調査.....	6
4.2.4 日本語授業の録画.....	8
4.2.5 担当教師へのインタビュー.....	8
4.2.6 動画コンテンツの文字化.....	8
第5章 調査結果及び分析.....	8
5.1 教科書における縮約形の扱い.....	8
5.2 縮約形に関するテストの結果.....	9
5.3 動画コンテンツの視聴に関する調査.....	12
5.4 授業の録画の分析.....	13
5.5 調査データの対照分析.....	14
5.5.1 テスト結果と動画コンテンツ視聴状況の組み分け.....	14
5.5.2 学習者の聴解成績と動画コンテンツの視聴状況の相関関係.....	18
5.6 担当教師へのインタビューの結果.....	22
5.7 動画コンテンツの文字化.....	23
5.7.1 動画コンテンツのスキプトの文字化結果.....	23
5.7.2 動画コンテンツの縮約形が出現する回数と教室内の出現する回数の比較.....	24
5.8 学習者の縮約形の習得に影響を与える他の要因.....	26
第6章 まとめと今後の課題.....	28
6.1 調査結果のまとめ.....	28
6.2 日本語教育へこの研究が与える示唆.....	29
6.3 今後の課題.....	29
参考文献	

海外の日本語教育においては、学習者と日本人の接触がほとんどないことが多く、教室外で日本語会話をする機会も少ない。中国の大学における日本語専攻の学習者にとっては、教室内の授業が主な機会である。日本人は日常会話で、よく「行っちゃった」「行かなきゃ」「置いといて」というような縮約形を使っている。しかし、日常会話をする機会が少ない中国の日本語学習者にとって、縮約形の習得は決して簡単なことではないと考えられる。

海外で日本語を勉強した学習者にとって、縮約形は実際に日本人の話し言葉に接したときにぶつかる問題の一つであると言われている（堀口 1989）。さらに、東（2009）は中国の大学日本語教育では縮約形は教材に文法項目として導入されているが、運用に関する明示的な指導がほとんど行われていないと指摘している。また、中国人日本語学習者を対象に、縮約形の使用状況を調べた結果（東 2008）では、上級の日本語学習者でも縮約形の使用率が日本語母語話者より大幅に低く、なかでも中国で学習した学習者は日本で学習した学習者より使用率が更に低いことが指摘されている。

一方、学習者は教室内だけではなく、教室外でも縮約形を習得することができる。日本語の動画コンテンツを見ているのは一つの勉強方法である。従来の研究においては学習者の習得状況、使用意識及び母語話者と学習者の使用状況の違いが明らかにされてきたが、習得に影響する要因に関する研究はほとんど行われていない。

本研究は、中国の大学における日本語学習者の日本語縮約形の習得状況を調査し、学習者が興味を持っている動画コンテンツに着目し、縮約形の習得に影響する要因を明らかにする。具体的には以下の点について明らかにし、これからの日本語教育において、縮約形の指導に関する示唆を与えようとするものである。

本研究のリサーチクエスチョンは以下のとおりである。

①聞き取りテストと翻訳テストを用い、学習者の縮約形に対する理解度と習得状況を明らかにすること。

②教材、授業の録音データを通し、教室内で縮約形の指導の現状を明らかにすること。

③学習者が動画コンテンツを見る頻度、または見ている動画コンテンツの種類は縮約形の習得に影響することがあるかどうかについて明らかにすること。

本研究は量的研究の方法を用い、中国の大学における日本語学習者を調査対象として、彼らの縮約形の習得状況と日本語動画コンテンツの視聴状況の関連性について見た。調査の項目は学習者に対する縮約形に関する翻訳テストと聴解テストの実施、学習者に対するアンケート調査、担当日本語教師に対するインタビュー、日本語授業の録画、日本語動画コンテンツの文字起こしである。

参考文献

- 大坪一夫 (1982) 「促音化」「長母音の短母音化」「縮約形」『日本語教育辞典』日本語教育学会編 大修館書店
- 岡田祥平 (2006) 「『縮約形』再考」『阪大日本語研究』 pp. 49-78
- 大関浩美 (2010) 『日本語を教えるための第二言語習得論入門』くろしお出版 pp. 77
- 呉岳樺 (2016) 「話しことばにおける縮約形に関する研究:一ドラマと日本語能力試験の考察を中心に」『日本語教育研究』第 62 巻 pp. 100-116
- 齋藤純男 (1991) 「現代日本語における縮約形の定義と分類」『東北大学日本語教育研究論集』第 6 号 pp. 89-97
- 東会娟 (2008) 「中国人上級日本語学習者の縮約形の使用状況」『言葉と文化』第 9 号 pp. 343-356
- 東会娟 (2009) 「中国の大学日本語教育における縮約形の指導について」『言葉と文化』第 10 号 pp. 151-164
- 土岐 哲 (1975) 「教義番組に現れた縮約形」『日本語教育』28 号
- 堀口純子 (1989) 「話しことばにおける縮約形と日本語教育への応用」『文芸言語研究 言語篇』15 pp. 99-121
- 穆红, 刘娜 (2015) 「日语专业大学生日语网络视频使用情况调查与教学启示」『新教育时代电子杂志:教师版』 2015, 000(029):241-241.
- 王超, 李美花 (2020) 「利用网络资源学习日语的现状与分析」『现代职业教育』文章编号: 2096-0603 (2020) 01-0056-02